



特殊詐欺は許さないぞ!

☆水堀保育園1日警察官

ここに
注目!!

原油価格・物価高騰支援など審議

令和5年第2回定例会が6月14日に行われ、条例の一部改正や各会計補正予算など、提案された案件を審議し、全て原案通り可決しました。

また、4人の議員が一般質問を行い、さまざまな観点から町政に問いかけました。



6月定例会 こんなことが決まりました！

原油価格・物価高騰支援に対する 臨時交付金事業など補正予算を可決

補正予算

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

◇令和5年度低所得世帯価格高騰支援給付金事業
4,998万1千円（全額国庫支出金）

物価高騰の負担感が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯）に対し、生活・暮らしの支援を行う観点から、一世帯あたり3万円を支給するもの。

◇～電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方
交付金～“エエ町江差”みんなの商品券事業

5,000万円（全額国庫支出金）

原油価格の高騰による負担軽減と町内消費の好循環を図るため、7月1日住民登録のある町民を対象に一人あたり7千円の商品券を配布するもの。

一般事業

◇江差町かもめ島交流拠点づくり基金積立

300万円（全額その他特定財源）

北の江の島構想を着実に進め、かもめ島周辺の交流拠点づくりを促進するもの。

◇コミュニティ助成（姥神町「豊年山」山車改修補助）

250万円（全額その他特定財源）

建造から140年以上を経過し、老朽化した山車の改修経費として、コミュニティ助成による補助。

◇令和4年度子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金返還

1,127万5千円（全額一般財源）

前年度に実施した、「電力・ガス・食料品等 価格高騰 緊急支援給付金」未執行分の補助額を返還。

◇珠洲市災害支援

100万円（全額一般財源）

最大震度6強を観測した友好都市提携を結ぶ石川県珠洲市に対し、一日も早い復旧・復興を願い、災害見舞金を送るもの。

◇令和5年度低所得子育て世帯価格高騰支援給付金事業（ひとり親以外）

151万6千円（全額国庫支出金）

物価高騰に直面し、特に影響の受ける低所得の子育て世代（住民税均等割が非課税等）に対し、対象児童一人当たり一律5万円を給付するもの。

◇保育環境改善等事業

17万5千円（全額国庫支出金）

町内で送迎用バスを保有する江差幼稚園に対し、置き去り防止装置を装備するための補助。

◇日明保育園屋根雨漏り板金補修工事

72万2千円（全額一般財源）

集合煙突付近の屋根板金の錆腐食が激しいため、損傷部分の板金補修工事を行う。

◇道立江差病院医師確保対策

150万円（全額その他特定財源）

「医師研究資金貸付事業」について、道立病院における今年度の総合診療科医師の体制が、2名から3名に増員されたことによる、所要の経費補正。

◇檜山地域人材開発センター西面外壁改修

1,612万8千円（全額一般財源）

経年劣化により外壁鉄筋の錆腐食が著しいため、損傷部分を補修、塗装やシーリング等を実施し延命化改修を行うもの。

◇経営所得安定対策

82万2千円（全額道支出金）

販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付し、農業経営の安定と国内生産力の確保を図るもの。

◇経営発展支援事業 初期投資促進事業

375万円（全額道支出金）

新規就農した農業者が肉用牛を導入する場合の費用を補助するもの。

◇新豊川団地駐車場外灯LED化改修工事

158万4千円（全額一般財源）

経年劣化及び塩害で不点灯等の不具合が生じている団地内駐車場の外灯3基を水銀灯からLEDへ長寿命化改修する。

◇学習指導員配置（小・中学校）

241万8千円（全額一般財源）

北海道において新型コロナウイルス感染症対策を図る指導業務が補助されたが、類型変更に伴い事業終了するため、町が引続き学習指導員を配置するもの。

専決処分の承認

◇新豊川団地漏水事故対策

101万4千円（一般財源及びその他特定財源）

6月定例会 こんなことが決まりました！

その他

◎条例改正

- ◇江差町国民健康保険税条例の一部改正
地方税法施行令の一部改正、保険税率の改正、新型コロナウイルス感染症の影響による保険税の減免特例終了に伴う条例の改正。
- ◇江差町介護保険条例の一部改正
新型コロナウイルス感染症の影響による保険料の減免特例について、条例の文言の改正。
- ◇江差町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
予防接種法に基づく予防接種健康被害調査委員会委員の報酬及び費用弁償について条例への明記。



◎報告

- ◇令和4年度一般会計繰越明許費繰越計算書
令和5年度に繰越して使用する予算について報告。陣屋・円山地区町有地法面崩落防止や北の江の島構想推進等。2億977万7千円を繰越。
- ◇令和4年度江差町港湾整備事業特別会計繰越明許費繰越計算書
令和5年度に繰越して使用する予算について報告。港湾センター給水管布設替工事で295万9千円を繰越。
- ◇和解及び損害賠償額の決定
新豊川団地1号棟1階において、電気温水器の給水管が経年劣化のため漏水し、床上・床下に浸水及び、団地居住者の家財に被害を与えたもの。町の責任において全て補償し、示談が成立した。
- ◎工事請負契約の締結
- ◇旧江光ビル跡地活用拠点施設建設工事
[契約相手方] 亀田工業・前田組経常建設
共同企業体
[契約金額] 2億8,820万円

意見書を提出

6月定例会では5件の意見書を提出し、4件を可決、関係行政機関へ送付しました。

《可決》

- ◆日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書
- ◆地方財政の充実・強化に関する意見書
- ◆義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
- ◆道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

《否決》

- ◆2023年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

議会ホームページをご覧ください

定例会の日程、審議内容の他、平成24年度以降の会議録を閲覧することができます。

議会だよりへの掲載は、紙面の都合上、一部省略しております。詳しくはHPにてご確認願います。

(議会HPアドレス)

<https://www.hokkaido-esashi.jp/gikai/gikai.html>



みんなの議会 傍聴しませんか 次の定例会は9月です。

日程は、町広報誌やホームページでお知らせします。

江差町議会本会議は、どなたでも傍聴することができます。

皆様の傍聴をお待ちしております。

臨時議会

4月26日に第3回臨時議会、5月19日に第4回臨時議会が行なわれ、一般会計の補正予算などについて審議し、原案どおり可決、閉会しました。

【第3回臨時議会】

◎補正予算

◆港湾整備事業特別会計繰出金に係る専決処分の承認（港湾センター給水管布設替工事）
295万9千円

◆子育て世帯生活支援特別給付金給付事業超過交付分の返還に係る専決処分の承認
246万6千円

◆新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業に係る経費の専決処分の承認
▲2,464千円

◆港湾センター給水管布設替工事に係る経費の専決処分の承認
295万9千円

◆新型コロナウイルスワクチン接種体制確保（春接種）
2,399万3千円

◆豊かな前浜づくりプロジェクト
342万1千円

◆港湾整備事業特別会計繰出金（公設地方卸売市場冷蔵設備購入）
37万円

◆マイナポイント申込支援事業
107万2千円

◆公設地方卸売市場冷蔵設備購入
37万円

◎条例改正

◆江差町税条例の一部改正（専決処分）

◎その他

◆江差町公共下水道江差・上ノ国下水道管理センターの建設工事委託
【委託先】日本下水道事業団（事業費）7,288万円

◎行政報告

◆寄付採納
江差ライオンズクラブ
会長 中村 英樹 様

◆町内小学校新入学児童へ学用品50セット
NPO法人 奏楽
理事長 岩崎 弘昌 様

◆町内各小中学校の校歌CD・DVDセット
第一生命保険株式会社
函館支社江差営業オフィス
オフィス長 秋野 厚子 様

◆町内小学校新入学児童へタオルチーフ45枚

◆北清えさし株式会社
代表取締役 湯藤 学 様
現金10万円

◆ホクレン農業共同組合連合会
代表理事会長 篠原 末治 様
企業版ふるさと納税
100万円

◆江差グリーンエナジー株式会社
代表取締役 戸田 勝也 様
現金300万円

◆矢口港湾建設
ヤグチダイバー株式会社
代表取締役 矢口 政則 様
企業版ふるさと納税
300万円

【第4回臨時議会】

◎補正予算

◆再生可能エネルギーゾーニング事業
2,203万3千円

全員協議会

4月26日、5月19日に開催した全員協議会について、その内容をお知らせします。

4月26日

◆江差町地域防災計画の全面改訂について
災害対策基本法改正、防災基本計画、北海道地域防災計画が変更となったことにより、本計画を全面的に改正し、その概要について説明。

◆江差町再生可能エネルギーマスタープランについて
2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにするカーボンニュートラル実現に向け、町・町民・事業者が一体となった取り組みを推進するロードマップや目標について町が説明。

5月19日

◆江光ビル跡地活用拠点施設整備について
江光ビル跡地活用拠点施設の建築及び外構工事の内容、今後のスケジュールについて町が説明。

◆江差町ゼロカーボンシティ宣言について
江差町が2050年までに二酸化炭素排出量を事実上ゼロ、カーボンニュートラルにすることを目指し、江差町が脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めることを表明。



江差町地域省エネ導入マスタープラン



一般質問 四議員が町政を問う

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質することができる唯一の場です。

◆質問は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

◆表示の説明◆

文中の「問、再問」はそれぞれ再質問、再再質問を表します。

第2回定例会 行政報告



次のとおり、町長が行政報告しました。

- 1 令和4年度江差町各会計決算見込みについて

歳入総額	63億6,668万円
歳出総額	60億9,934万1千円
歳入歳出差引	2億6,733万9千円

 繰越明許費繰越しを差し引いた実質収支は2億4,164万9千円で、1億3,000万円を財政調整基金に積立、残額は繰越金。
- 2 令和4年度江差町水道事業会計決算概要について

営業収益	2億5,417万2千円
営業費用	2億8,515万4千円
営業外収益	2億1,106万7千円
営業外費用	4,119万9千円
当年度純利益	1億4,085万2千円
- 3 寄付採納について
 シン・エナジー株式会社
 代表取締役 乾 正博 様
 現金300万円（北の江の島事業推進のため）



続いて、教育長が行政報告しました。

- 1 寄付採納について
 株式会社五勝手屋本舗
 代表取締役 小笠原 敏文 様

町立小中学校全児童生徒及び教職員に対し、いんげん豆を使用して作られた「復刻羊羹」の提供。





眞議員 (無党派)

塚本

6月定例会 一般質問

江差町版DX計画の策定は 計画せず全庁的に取り組む

自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画の取組状況について問う。
令和3年5月にデジ

タル社会形成基本法地方公共団体情報システムの標準化に関する法律を含めたデジタル改革関連法が成立・施行された。

全国ではマイナンバーカードのひもづけや証明書関連で、様々な問題が紙面を賑わしているが、重要取組事項として6項目があげられているところ。

この取り組みに当たって、江差町版のDX計画を策定するのかあるいは策定した場合の業務の効率化や、セキュリティ対策を徹底することが必要と考えるが、どのような体制で取り組むのかを伺う。
町長 江差町のDX計画策定に関しては予定していないが、当町ではマイナンバーサイ

スのオンライン化や、マイナンバーカードの普及促進を図り、カードの交付率は70%を超えている。

昨今報道のマイナンバーの誤ったひもづけ等に関しては、町では確認されていないが、町民からの問合せや相談に対しては、随時対応していく。

また、業務の効率化とセキュリティの対策の徹底については、この春、総務課で中心的に業務推進する担当職員を配置したほか、町が保有する情報資産の機密性・完全性を維持するため、セキュリティ対策を講じながら、全庁的横断的な体制により当町のDXに取り組んでいく。

再 改めて、他人口座のひもづけや、子どものマイナンバーカードが親の名前で名義になっっている等により、全国的な確認作業が指示されると伺っている

が、町では、もう確認作業が終わっているのか、これからやるのか伺う。

産業振興課長 国では、5,400万件を総点検し、うち誤りが13万

新たな地域クラブ活動対応は 答 団体・学校と共に取り組む

新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応については、昨年の12月定例会で他の議員からも質問があった。

令和4年12月文化庁、スポーツ庁で、学校部活動及び地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドラインが出されている。

学校の部活動、新たな地域クラブの活動、学校部活動に地域連携や地域クラブへの意向

に向けた環境整備、あるいはいろんな大会への在り方の見直し、これらが提言されている。令和7年度までの3年間を改革推進機関として

いるが、江差町と

件程あったと新聞に掲載されていた。国から登録誤り該当者に対し、通知が届くので、町へ相談等があった場合に、対応していくという流れになる。

してこの対応に既に取り組んでいる、取り組もうとしている中身について伺いたい。

教育長 議員ご承知のとおり、ガイドラインが国から示され、北海道教育委員会では、本年の3月に、北海道部活動の地域移行に関する推進計画が策定され、当該計画の中で、今後の市町村の取り組みの在り方などについて示されたところ。

江差町教育委員会としても、具体的な協議を進めるため、本年5月にスポーツ協会、スポーツ少年団、文化協会などの関係機関や、学校、保護者などで構成する協議会を立ち上



マイナンバーカード作成申請の様子

げ、今後の取り組みを確認をしたところ。

具体的な取り組みとしては、地域のニーズを把握することを目的に、児童、生徒、保護者へのアンケート調査を実施すると共に、各競技ごとの指導者のリストアップなど、情報収集を進めてきた。

また、団体競技においては、近隣町と連携し、今後の方向性などを協議していく。

一方、部員数の減少により、現在も学校単独でチーム編成が困難な部活動もあるため、地域移行の協議と合わせ、在学中の生徒の部活動の支援も、学校と連携し取り組んでいく。



出崎 太郎 議員 (無党派)

6月定例会 一般質問

高齢者避難周知方法の検討を 答 伝達方法や維持費用検討を

江差町防災会議により、江差町地域防災計画が3月に全面改訂され、議会全員協議会で概要説明があった。

防災計画について2点質問する。

1点目、住民への避難情報の伝達方法について。避難指示が発令された場合の住民への周知方法について、高齢者からメールやアプリの操作は不慣れで対応出来ないとの声がある。防災無線等、他の手段について検討する考えはないか。

2点目、災害廃棄物処理実行計画の作成について。被災後の廃棄物の処分は、その後の復旧復興に大きく影響する。災害廃棄物処理計画では、分別搬入を前提に仮置き場の候補地が示されている。実行計画は災害廃棄物の発生量と廃棄物処理施設の被害状況を把握した上で作成することとなっている。迅速に対

応するには、事前にケーススタディをしておくべきではと考えるが如何か。

町長 1点目の災害に関する住民への避難情報

の伝達については、江差町地域防災計画により、住民に対し正確かつ分かりやすい情報を迅速に提供し、適切な判断による行動を支援するものとしている。

現在、当町の避難情報等の周知は、吹鳴装置や広報車、緊急速報エリアメール、町の公式LINEや防災速報アプリのほか、町内会など地域の協力を得た個別訪問を組み合わせて

している。昨年の河川水位の上昇時は、比較的時間の猶予があり戸別訪問など周知が可能だったが、津波情報など短時間で地域へ周知の必要がある場合は、防災無線等が果たす役割は大きい。引き続き伝達手段や整備維持費用、財源手

てなど検討していく。

2点目の災害廃棄物処理実行計画の作成について、町の計画は、地震、津波、洪水の各災害による最大被害想定を基に、廃棄物の発生量を推計し、衛生的かつ迅速な処理、分別再生利用の推進などの基本方針を掲げ、災害応急の初期期や復旧復興期における処理内容を規定している。

災害廃棄物は、処理期間短縮や低コスト化等の観点上、搬入時から分別を徹底することが重要とされており、当町では災害廃棄物の発生量に応じ、町内8カ所の仮置場候補地を想定している。受入時の分別、集積後の選別等を経て、最終処分場への運搬、再使用、再生利用での活用を図る。

実行計画は、災害廃棄物の発生量と廃棄物処理施設の被害状況を把握した上で作成し、同様に災害時の応援協力を締結している民間事業者や団体、他市町村等の被災状況等を踏まえつつ、逐次判断す

る必要があるものと考ええる。関係課や機関等との連携、対応能力の向上に努めていく。

町長 災害が発生した時に、早急な仮置き場の設定や、対応するため

にケーススタディを事前にして、ある程度準備しておくことが必要ではというのが質問の趣旨である。如何か。

総務課長 ケーススタディに関しては、職員

带状疱疹ワクチン費用補助の検討を 答 国の見解等を踏まえ検討する

带状疱疹のワクチンについて。近隣町の動

向を見まして、住民から带状疱疹ワクチンの接種について、我が町でも費用の補助をしてもらえないかという要望がある。費用の補助について検討する考えはないか。

町長 带状疱疹は、80歳までに3人に1人が発症すると推定されている。带状疱疹の予防としてワクチン接種があり、任意接種で接種

との協力関係などを踏まえながら、有事に備えて対応していく。



昨年、大雨による避難所開設の様子【写真は江差高等学校】

希望の場合は全額自己負担となる。 椴山管内では上ノ国町、せたな町、今金町の3町が費用助成を行っている。

带状疱疹ワクチン接種助成に対する検討については、国の見解や発症予防効果を含む医学的根拠及び定期予防接種化の動向を考慮し、今後の検討課題とさせていただきます。今後の検討課題とさせていただきます。



小梅 洋子 議員 (無党派)

6月定例会 一般質問

介護認定前の費用助成対策は 利用状況等踏まえ検討する

高齢者が要介護状態になる原因の一つに転倒があり、それを防ぐ方法として、手すりの設置が有効である。手すりの取り付けについて、介護認定を受けている場合は、介護保険制度の活用によりなされているが、介護度が進んでからの状態ではうまく活用されていない印象を受ける。

本日の予防は、もつと前の段階で、身体的機能にゆとりのある時から、手すりなどの対応を生活の一部に習慣づけておく事が大事であり、いざという時もうまく順応出来ると考える。

介護認定に至る前に、玄関先や風呂場、トイレなどへの手すりの取り付けを考えるが、高齢者在宅支援事業の中で、費用の一部助成対策などの考えはないか。

町長 介護保険制度の住宅改修は、要介護要支援認定の判定を受け

た方が、より安全な生活が送れるよう、生活環境を整えるための手すり取り付け、段差解消、扉の変更等の6項目に対し、20万円を上限として費用の7割から9割を住宅改修費として支給する制度。

第8期江差町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画期間の当町の実績においても、手すりの取り付けは介護保険制度の7割を占めている。手すりの取り付けは、介護度が比較的低度の方が多いことも確認しており、手すり取り付けの需要が高いことを認識している。

介護保険制度では、介護が必要となった時には、要介護要支援申請を行い、住宅改修費の手続きを進めることができる。

障がい者手帳を所持している方についても、必要な要件を満たすことで、障がい者住宅改修費の手続きを行うこ

とができる。

制度利用以外では、町内に住所を有している方に対して、江差町住宅リフォームプレミアム商品券を活用して、手すりの設置も対象となっている。

このことから、現行の利用状況を踏まえ、今年度進めている第9期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定にあたり、策定委員会の議題として、要介護要支援認定前の高齢者福祉施策の中で、手すりの取り付け等が介護予防に繋がる手立てとなるか協議を重ねた上で、検討したい。

再 介護保険制度での手すり設置については、軽度な方々の需要が、かなり多い事は理解出来た。その上で、介護予防に繋がる効果的な手すり設置をしていくには、リハビリの専門などの助言が重要と思う。現在、どのような専門職住宅改修に関わっているのか。

また、今後リハビリ専門職の方々から意見が得られる仕組みなど、

考えを伺いたい。

高齢あんしん課長 現在、介護保険制度で行う手すり設置等の住宅改修費の申請については、担当のケアマネジャーが内容を本人とともに確認し、専門的な視点で理由書を作成している。

また、担当にケアマネジャーがいない方については、地域包括支援センターの専門職が理由書を作成している。住宅改修については、体の機能から、より効果的な改修が行えるようリハビリ等専門職の意見は必要と考える。

当課においても、町の施設や介護事業所で働くリハビリ専門職10名の方にご協力をいただき、昨年度より地域リハビリテーション活動運営委員会の準備委員会を経て、本格的に活動を開始したところ。運営委員会の中でも、住宅改修への専門職の助言が行える仕組みについて、今後検討する。

再 地域リハビリテーション活動運営委員会の専門職10名の協

力を得ているとあるが、どのような方々なのか。

高齢あんしん課長 リハビリの理学療法士、作業療法士の資格を持った専門職で、町内の病院、診療所、介護保険事業所、施設などで勤務している10名の方々が構成。地域の中にある貴重な人材であり、町のために出来ることを一緒に考えている。

今後も、役場だけでなく、地域の中で活躍する方々と力を併せて事業を進めていく。



転倒防止手すりの設置



小野寺 真 議員 (日本共産党)

6月定例会 一般質問

不妊処置に関する町の進展は 答 国の基本指針を基に協議する

不妊処置問題は、全国に全国的に障がい者施策における今後の大きな課題として取り上げられている。国や道が実態調査を行っているが、それらの検証や今後の対応は。

町では、この問題についてどう受止め、見直しを進めていくのか。江差町障がい者地域自立支援協議会では、どう協議されているか。

町長 国や道が協議・対応状況を公表していないため、町の立場でお答えできない。

また、国の改正基本指針を受理したのが最近であり、協議会等で協議出来ていないが、今後、内容をどう盛り込むのかを協議していく事となる。

再 あすなる福祉会職員及び利用者に関する一連の事案について、町として今後の改善が出来るのか、あすなる福祉会にどのような改善策を求めるのか。

インクルーシブ教育の取り組みは 答 学校、教員の要望を踏まえ協議

国では、障がいのある子どもと無い子どもが可能な限り、同じ場で共に学ぶための環境整備を始め、よりインクルーシブな社会の実現が求められているとされているが、どのような取り組み、協議が進

重層的支援整備事業実施検討を 答 他自治体を参考に在り方検討

地域住民の複合化、複雑化した支援ニーズに対応する包括的な体制を整備する重層的支援整備事業を厚生労働省が進めている。七飯町が一定の取り組みを実施している、町でも検討しては如何か。

町長 町民からの相談内容により、複数の課

については、どう考えているか。

町民福祉課長 7月に見直し・検証も含め1回目の協議会開催を予定。情報も仕入れながら随時開催していく。

障がい者の自動車費用助成検討を 答 檜山各町の状況を確認し検討

障がいのある人が、就労や社会参加のため、町として自動車の免許取得や改造費用への助

支援を必要とする子供とそうでない子供が共に過ごし、学ぶ取組みを実施しており、授業形態も子供たちや保護者の理解を得ることが重要なため、意見を得ながら行っている。

また、支援員の増員や通級指導に関しては、各学校の状況に応じ指導を行うため、対応する学校、教員の要望を踏まえ、協議を進める。

を繋いで、障がいのある子ども達のより良い療育を進めていく保育所等訪問支援事業を実施するため、障がい計画の中に検討することは出来ないのか。

町民福祉課長 町単独で、保育所等訪問支援事業を実施するには、事業所の設置、管理者や専門職の配置が必要となるため、難しい状況にある。

定例会 議案審議 行政報告 一般質問 臨時会 委員会

～常任委員会では、今はこんなことを調査しています～ よりよい町づくりのために

総務産業常任委員会『洋上風力発電事業に関する事務調査』

総務産業常任委員会（小梅洋子委員長）は、令和4年第4回定例会で事務調査をおこし、担当課からの説明を求めるとともに、先進地行政視察（秋田県能代市）を実施し、調査をした結果について、次のとおり意見を付して報告した。

■調査の目的

- ◇檜山沖においては、再エネ海域利用法に基づく促進区域への指定に向けた取り組みの強化が急がれるところであり、同時に洋上風力発電事業に関する諸課題に対しても協議を加速する必要がある。
- ◇当委員会として、既に導入実績のある先進地での導入経過や諸課題への対応状況等を確認し、当町として想定される課題を把握した上で、今後どのように事業を進めていくべきかを調査した。

■視察調査

- ◇秋田県能代市 令和5年2月8日、9日

■調査の結果と意見

1. 地域住民の理解

風車騒音など住民の生活環境や健康に害を与える可能性についての十分な説明を行うと共に、地域の振興や活性化に繋がる事業としていくため、事業の意義について住民へ理解して頂く必要がある。

2. 漁業等への影響

漁場は将来に渡り漁業資源を守り育てて行く上で、非常に重要なものである。一方で自然環境を活用した政策との協調・共生も、今後においては必要なものである。

また、対象海域における船舶の通航や漁業活動状況等の海上交通についても、調査・分析・検討が必要であり、漁業・海運業関係者等との十分な協議を踏まえ、理解・納得した上で取り進める必要がある。

3. 自然環境の保護

環境への影響として考えられるのが、建設時の海水の濁りや海底地形の改変、海流の変化、稼働後における水中音、バードストライク（鳥類への被害）など。生物の生息環境の悪化や行動阻害等が想定されるため、情報収集を行い、一定程度の知見を有した上で、環境保護に配慮する必要がある。

4. 景観への配慮

陸地から風車までの距離が近い場合、見る人に圧迫感を与えるものであり、また当町のシンボルでもある「かもめ島」の眺望景観を損ねる事が無いような設置場所の選定が必要である。

今年度、「再生可能エネルギーゾーニング事業」に取り組まれることから、これらの事を踏まえた中で、綿密な協議・検討の元でゾーニングマップを作成願う。

■総括

- ◇新聞報道等にもあったが、今年度に「有望な区域」に選定される予定であり、早ければ来年にも「促進区域」に指定される可能性が生じてきたところである。これまでの町としての動向を見ても、少し遅きに失している感は否めないが、今後の状況を見据え迅速な対応が望まれるところである。
- ◇洋上風力発電事業は前述の他にも、地元企業の請負体制や工事関係者の宿泊施設の確保、漁業者を始めとした地域住民への還元、町への収入など、協議・検討を要する課題も多々あり、先を見据えた中で、課題を総合的に整理するためのシナリオマッピング※1の作成を早期に行うことも重要である。

※1 事業を遂行する上で、多種多様な課題が想定されるため、複数の視点で情報を幅広く収集・洞察し、想定可能な事や不確定要素についても同時に検討し、それらを関連付けながら様々な可能性を考えに入れた筋書き。



秋田県能代市洋上風力視察の様子

社会文教常任委員会『江差町の次世代支援に関する事務調査』

社会文教常任委員会（小野寺真委員長）は、令和4年第4回定例会で事務調査をおこし、担当課からの説明を求めるとともに、現地調査を実施し、調査をした結果について、次のとおり意見を付して報告した。

■委員会意見

1. 「第2期江差町子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況について

◇国の制度改正と合わせて、幼児教育・保育の無償化がすすめられ、令和2年度から「幼保連携型認定こども園」へ移行。町の独自事業として、学校給食の全額補助、遊び場の充実、子育て世帯の住宅新築や中古住宅購入助成制度を令和5年度からスタートするなど、着実に進められている。

◇一方、人口減少、児童数の減少に伴う当町全体の事業計画・供給体制についても再検討が迫られており、次期「江差町子ども・子育て支援事業計画」の策定を的確に進める必要がある。

2. 北部地区の保育所整備について

◇日明保育所と水堀保育所については、施設の老朽化と児童数の減少に伴う供給体制の検討・施設統廃合の検討は待ったなしの状況であり、以前の調査報告でも指摘されている事項である。

◇北部地区の保育所整備の進め方によって、北部地域のまちづくりを大きく変えることが想定される。これらの保育所は、その地域にとって身近で利用しやすい施設であり、地域住民にとっては大事な地域資源である。

◇今後の整備の進め方については、江差町の保育環境の現状・今後の見通し、北部地域のおかれている地域状況を関係地域の住民にも説明し、今後利用が想定される父母等の要望や考え方など十分に聴取・把握し、理解を得ることが重要と考える。

3. 学童保育所について

①なかよし児童会（江差小学校）は、現在、元の町立あすなる幼稚園の後を整備し利用しているが、スペース的にも十分確保され、児童ものびのびと利用していることを確認した。

②以前の調査報告で指摘されている事項について、なかよし児童会（江差小学校）及びつばさ児童会（南が丘小学校）に支援員補助員の配置、開設時間延長実施など、改善がはかられている。

③父母会で運営している水堀学童保育所の町立化への移行について、必要となる支援員の人材確保が急がれる。

4. 病児・病後児保育サービスについて

◇保育所に入所中の園児が、病気の回復期や保育中に体調不良となり、集団保育が困難な場合に、病院や保育所等に敷設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を行う事業であるが、当町では専門保育室の確保や看護師の配置などの課題があり実施していない。保育園児が安心して通所でき、父母に対する就労支援にもなるサービスであり、引き続き今後の検討課題としていく必要がある。

5. 障がい児支援について

◇江差町は、上ノ国町の子ども発達支援センター、NPO法人による放課後等デイサービス（たまみずき上ノ国町）を利用している。江差町民の利用児童・保護者が、利用に関する相談などについて、江差町と上ノ国町の両施設と連携を、今後も密に進めていくこと。



水堀学童保育現地調査の様子



水堀保育所現地調査の様子



北海道町村議会議員研修会に出席しました!

7月4日、札幌市を会場に全道の議員研修会が行われ、江差町議会からは塚本議員・出崎議員の2名が出席しました。

演題として、兵庫県立大学理事長の五百旗頭(いおきべ)真氏が「ウクライナ危機後の世界と日本」について、テレビでお馴染みの政治ジャーナリスト田崎史郎氏が「日本政治の舞台裏」について講演され、今の情勢が分かりやすく大変貴重な研修会となりました。

出欠状況をお知らせします！

令和5年4月1日から7月14日の出欠状況です。斜線部分は出席する必要のない会議です。

会議名	会議日	総務産業常任委員会						社会文教常任委員会					議長
		委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員長	副委員長	委員	委員	委員	
		小梅 洋子	小林 くにこ	飯田 隆一	室井 正行	塚本 眞	大門 和幸	小野寺 眞	出崎 太郎	薄木 晴午	西海谷 望	萩原 徹	
第3回臨時会	4月26日	○	○	○	○	○	○	○	●6	○	○	○	
第4回臨時会	5月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第2回定例会	6月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
全員協議会	4月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	●6	○	○	
	5月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
総務産業常任委員会	5月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
社会文教常任委員会	4月12日	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	
	4月24日	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	
	5月16日	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	
	5月19日	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	
議会広報特別委員会	4月14日	△	○	△	△	○	○	△	○	△	△	△	
	4月19日	△	●6	△	△	○	○	△	○	△	△	△	
	6月14日	△	○	△	△	○	○	△	○	△	△	△	
	6月28日	△	○	△	△	○	○	△	○	△	△	△	
	7月7日	△	●6	△	△	○	○	△	○	△	△	△	
議会運営委員会	4月26日	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	5月19日	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	5月23日	△	△	○	●6	○	○	○	○	○	○	○	
	6月2日	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○：出席 ▲：欠席（公務） ●：欠席（中の数字：1 傷病・2 出産・3 育児・4 看護・5 介護・6 私用）

議会の動き

- 4月12日 ◆社会文教常任委員会
- 4月14日 ◆議会広報特別委員会
- 4月19日 ◆議会広報特別委員会
- 4月24日 ◆社会文教常任委員会現地視察
- 4月26日 ◆議会運営委員会 ◆全員協議会 ◆第3回臨時会 ◆議員会総会
- 5月1日 ◆トラウトサーモン試食会
- 5月16日 ◆社会文教常任委員会
- 5月18日 ◆檜山管内定例議長会（議長）
- 5月19日 ◆議会運営委員会 ◆全員協議会 ◆第4回臨時会 ◆総務産業常任委員会 ◆社会文教常任委員会 ◆議会運営委員会
- 5月23日 ◆議会運営委員会
- 6月2日 ◆議会運営委員会
- 6月5日 ◆檜山地域振興協議会総会（議長）
- 6月14日 ◆第2回定例会 ◆議会広報特別委員会 ◆南部桧山衛生処理組合議会臨時会（塚本議員） ◆檜山広域行政組合議会臨時会（小野寺議員、出崎議員）
- 6月23日 ◆議会広報特別委員会 ◆檜山地域振興協議会要望会（議長・函館市及び札幌市）
- 6月26日 ◆議会広報特別委員会
- 6月28日 ◆檜山地域振興協議会要望会（議長・函館市及び札幌市）
- 7月4日 ◆北海道町村議会議員研修会（塚本議員、出崎議員）
- 7月5日 ◆議会広報特別委員会
- 7月7日 ◆議会広報特別委員会

トラウトサーモン試食会に出席しました！



脂ののって美味しい！

江差町で養殖されたトラウトサーモンの初水揚げを前に、役場保健センターで試食会が開催され、江差町議会より打越議長、小梅総務産業常任委員長、塚本議会広報特別委員長、観光コンベンション協会長として西海谷議員が出席しました。

今号の表紙

☆ とくしゅさぎに だまされないでね！

水堀保育園の年長組の園児4名が柳崎大型スーパーの前で年金振込日の6月15日午前10時から特殊詐欺街頭啓発活動をおこないました。

子ども達は買い物客にティッシュペーパーを配りながら、江差警察署署員や江差防犯協会の方々と特殊詐欺防止に一役買いました。

園児は警察服を着用し、すこし緊張の面持ちでしたが、笑顔で買い物客に対応していました。



（撮影者：塚本 眞 議会広報特別委員会委員長）

議会からのお願い 議会だより取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。